



【タイトル】 大阪大学社会経済研究所 第19回行動経済学研究センターシンポジウム
「自治体のナッジ実践経験共有がもたらす公共政策と行動経済学の将来像」

【開催日時】 2022年10月26日（水） 18:30～20:30

【開催形態】 「Zoom（ウェビナー）」を用いたオンライン配信で開催します。（参加無料）

【主催】 大阪大学社会経済研究所 【後援】 一般財団法人 アジア太平洋研究所（APIR）

【プログラム】

18:30-18:35 開会のご挨拶

18:35-18:55 「連携をベースに描く将来ビジョン」

敦賀貴之 大阪大学社会経済研究所教授、同研究所 所長

津田広和 特定非営利活動法人 Policy Garage 代表理事、官公庁/RIETI コンサルティングフェロー

星野崇宏 慶應義塾大学経済学部・大学院経済学研究科 教授、慶應義塾大学経済研究所長、行動経済学会 会長

18:55-19:20 『「自治体ナッジシェア」が拓く政策の未来』

伊豆勇紀 特定非営利活動法人 Policy Garage、宮城県職員、宮城ナッジユニット

19:20-19:45 「行動経済学会・環境省共催『ベストナッジ賞』の歩みとこれから」

佐々木周作 大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）特任准教授（常勤）

19:45-19:55 「近日開講@阪大！ナッジと公共政策」

花木伸行 大阪大学社会経済研究所 教授、同研究所行動経済学研究センターセンター長

（10分休憩）

20:05-20:25 質疑応答

20:25-20:30 閉会のご挨拶

司会：花木 伸行



【参加方法】 社会経済研究所 WEB サイトよりオンラインでお申込み下さい。

<http://osku.jp/g0067>

【申込開始】 2022年10月11日（火）12:00 から。但し、定員に達し次第、締切ります。

【備考】 Zoom の機能を使って、参加者からの質問にもライブでお答えする予定です。
時間の関係で全てのご質問にはお答えできませんがご了承ください。

【お問合せ】 大阪大学社会経済研究所シンポジウム事務局
E-mail: rcbe-symp@iser.osaka-u.ac.jp